

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

西宮市立上ヶ原小学校（兵庫県）【指定校】

## 【取組内容】クラウド環境を活かした研究推進

### グループチャットを活用したICT推進

写真「火山灰にはどんな特徴があるのだろうか。」  
課題「火山灰を顕微鏡し、特徴をノートにまとめる。」  
実情「火山灰の顕微鏡の観察は難しいが、電子顕微鏡を使えば火山灰の特徴を観察することが出来る。」

**学習目標**  
・顕微鏡で観察し、特徴を「タブレットカメラ」で写真撮影し、グループチャットで共有する。

**学習活動**  
・ノートに電子顕微鏡で撮影した火山灰の写真を貼り付け、観察する。

**評価**  
・グループチャットでの共有状況を評価する。

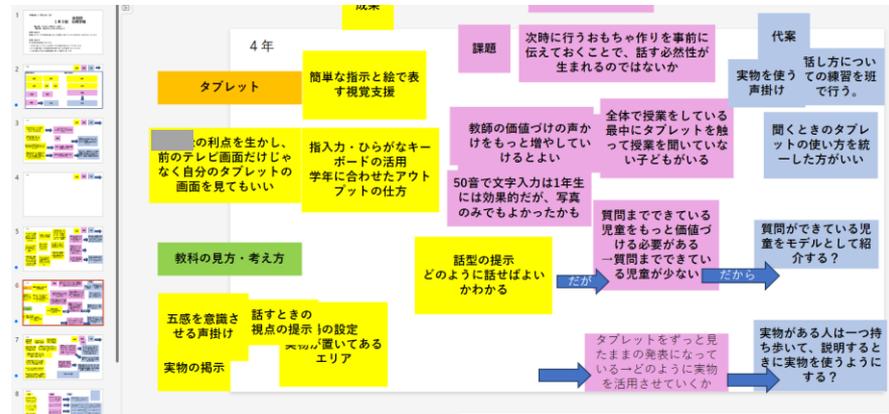
**学習成果**  
① 顕微鏡で撮影した火山灰の写真を顕微鏡し、特徴を火山灰の目録表でまとめる。② 顕微鏡で撮影した火山灰の写真を電子顕微鏡で撮影する。③ 顕微鏡で撮影した火山灰の写真を電子顕微鏡で撮影する。



探究のサイクルで火山灰の観察をしました。

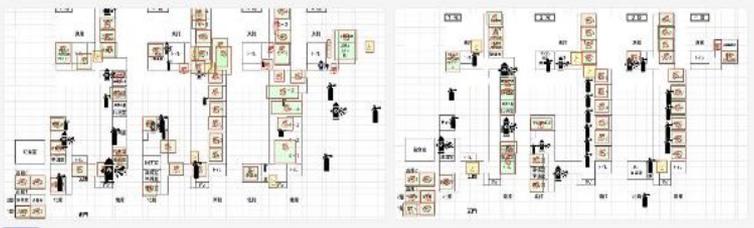
ICT活用をした授業実践をグループチャットを利用して共有。共有する内容を写真やスクリーンショットと紹介文を付けるのみにして短時間で投稿できるように工夫をした。投稿された内容に「いいね」を押すことで、グループチャットの活性化を促した。

### 研究授業後の事後研究会でのクラウド活用



研究授業中に各学年でリアルタイムにメモを共有する。その後、事後研究会で児童の姿から考えられる研究の課題について交流できた。

校内の消防設備を見て回りました。タブレットPCを持ち歩いて、見つけた防火設備をアイコンで記録していきました。クラスで共有する際、デジタルデータなので、すばやく共有できて便利でした。



校務DXを進めるため、教職員が手軽に続けられる取組から始めた。できるだけ毎日取組める内容としてチャットの活用を、今までの研究推進をより効率的に深めるために、PowerPointを使用して共同編集を行った。校務DXが進むことで教職員が授業でもICT活用できるように意識付けされていた。